

令和6年度 契約監視委員会

独立行政法人 自動車事故対策機構

開催日時及び場所	令和6年6月5日（水） 14:00～16:00 独立行政法人 自動車事故対策機構 役員会議室 （WEBとのハイブリット方式）
出席者	北村信彦委員長（公認会計士） 堀田一吉委員（慶應義塾大学商学部教授） 古笛恵子委員（弁護士、コプエ法律事務所） 溝田義昭委員（独立行政法人自動車事故対策機構監事） 那須規子委員（独立行政法人自動車事故対策機構監事）
議事次第	○点検事項 1. 調達等合理化計画 （1）令和5年度調達等合理化計画の自己評価(案) （2）令和6年度調達等合理化計画(案) ※関連事項 点検基準に基づく点検 ①競争性のない随意契約 ②一者応札、一者応募 ③競争性のある随意契約(企画競争・公募) ④一般競争 2. 公益法人に対する支出 3. 個別案件
審議概要	別紙のとおり
委員会からの 意見表示又は 勧告	特に意見なし

審 議 概 要

別 紙

委員発言（要旨）	NASVA回答（要旨）
○点検事項 1. 調達等合理化計画 （1）令和5年度調達等合理化計画の自己評価(案) 1者応札の見直しについて、同一事業者による1者応札が継続している案件はないということか。 障害者就労施設からの調達について、対前年度で件数は増加しているものの、金額は減少しており、取組みは推進されたのか。 1者応札の見直しについて、対前年度で14件増加しているが、分析はされているか。 1者応札の見直しについて、入札辞退した理由が応札者側の事情によるものが多数あったということであるが、もう少し応札者側の事情が分かるように工夫されてはいかがか。	同一事業者による1者応札が継続しており、改善が見込めない案件はなかった。結果として、適正契約検証チームでの検証は行わなかった。 各主管支所に対して、前年度に他の主管支所で調達した物品等と組織名を横展開しており、次回調達の参考としていただく取組みを継続して実施している。 公募等の契約が対前年度7件増加したことが影響している。更に、全体で契約件数が1.6倍と増加しているため、減らす取組みは行っているが、件数は増加している。 承知した。アンケート項目等の見直しを検討する。
（2）令和6年度調達等合理化計画(案) 広報業務の企画競争契約が1者応札となったようだが、今後も同様の調達は発生するのか。	令和5年度は広報元年であり、結果としては1者応札となってしまったが、令和6年度については同様に広報の契約を企画競争で実施しており、複数者の応札があり、1者応札は改善されている。

委員発言（要旨）	NASVA回答（要旨）
2. 公益法人に対する支出 （特段の意見がなかったことから）国土交通大臣へは契約監視委員会として「特段の意見はなし」ということで報告させていただく。	
3. 個別案件 市場化テストの経過報告については、承知した。今後は引続き自主的に競争性の確保とコスト削減をお願いしたい。 適性診断システムと指導講習及び認定セミナーシステムとは、まったく別のシステムか。 ナスバは新規事業も増え、療護センター等の予算が拡充されたので、次回、具体的な事案についてご説明願いたい。	承知した。 然り。後者は予約システムであり、システムとしては比較的簡易で事業者が参加し易いシステムと考える。 承知した。